

団体名 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会

【交流・人材育成・研修機能について】

**人材育成の考え方**

市民のニーズや地域・社会の課題解決に向けて取り組む市民活動に関わる人たちを育て、支援していくことは市民活動支援センターの重要な役割の一つであると考えます。多くの市民の関わりを得て、市民活動を活発にしていくために、個人への支援から団体への支援へと段階的に考え、手法を工夫しながら、計画的に実施していきます。

個人を対象とした取り組み・団体を対象とした取り組みのどちらも、実施の際には、市民活動支援センター単独で企画・実施する場合がありますが、できるだけ関係機関や団体とのネットワークの中で、共催や協力など一緒に企画し実施していくことが望ましいと考えます。

これらの取り組みは、実施した後に常に振り返りを行い、課題や問題を整理して、次の企画に活かしていきます。

**個人への取り組み**

第一に、市民活動支援センターの存在を知ってもらう取り組みを企画し実施します。市民活動の入り口として、地域について学んだり、多くの市民が共通に感じている地域や社会の課題・関心事への理解を深める内容の話聞く機会を設けたり、実際に体験してすぐに役立つノウハウが身に付く学習や、同じテーマに関心がある市民同士が交流する機会を設けるなど、個人が市民活動に関わるきっかけとなるような機会を設けて、市民活動支援センターの取り組みを紹介し、参加を促すメッセージを発信していきます。

第二に、市民活動の原点はニーズや課題の解決を目的とした公益活動ですが、ニーズや課題解決に焦点化した講座や学習の機会を設け、解決に向けてすでに取り組んでいる活動への参加を促したり、取り組んでいる活動が無い場合には、新たな活動の開拓を意図した企画を検討し、実施します。

第三に、市民が地域の課題に気づき、自ら解決に向けて動く視点を持てるような基礎的な学習の機会を設け、市民活動の裾野を拡げます。

第四に、市民活動への参加を希望する個人が、気軽に始められるように、体験的に参加できる機会やイベントを企画し実施します。

第五に、市民活動に参加している市民が、他の分野の活動にも目を向けたり、一層充実した活動に取り組めるよう、市民活動に共通する基本的なテーマの講座や学習を企画し実施します。

**団体への取り組み**

市民活動団体には、ボランティアグループなどの任意団体、NPO 法人など様々な形態があ

<様式8>

りますが、団体として活動していくことは継続性や信頼性を高めることにつながるため、新たに団体を設立したり、法人化したりするための支援をします。

団体の設立や立ち上げの際に必要な考え方や情報を得ることの出来る講座や相談の機会を設け、組織化へ向けた支援をします。

また、すでに活動している団体はそれぞれ専門性を活かした活動に取り組んでいますが、発展しながら運営していくために必要な共通テーマである人材確保や会計処理、資金獲得などについて、知識や方法を学ぶ講座を実施したり、相談を受けることのできる機会を設けます。共通した課題を抱えている複数の団体がお互いに学び合いながら、スキルアップを目指すことも有効であると考えます。